

令和7年度 東京都立三鷹中等教育学校 学校経営報告

統括校長 小林 正人

1 本年度の総括

今年度は「思いやり・人間愛をもった社会的リーダーの育成」の教育理念を実現するため、具体的な行動指針（「発調考見挑振」「凡事徹底」「規律ある自由」+「自己実現」「未来形成」「当事者意識」）を示すとともに、その構造図を作成して可視化、言語化できるようにした。このことで、教員も生徒も本校の教育の目指すべき方向性が一致するようになった。また、未来型オフィスの導入による意思疎通の迅速化により、様々な取組をスピード感をもって実行できるようになった。この結果、今年度の教育活動全般が活性化され、令和7年度学校経営計画に係る数値目標の達成率が、昨年度比5.8ポイント上昇し、83.7%になった。

2 今年度の教育活動

6年間を見通した教育課程の編成と特色ある教育の推進については、計画どおりに実施できた。講習・補習は、適した時期に適した内容の講習・補習を昨年度比8回増の年間96回実施した。教員の資質・能力向上については、「主体的な学習者の育成」をテーマにした研究を行い、その成果を紀要に取りまとめた。また、先進校視察も実施した。教員の相互授業見学は、時期や期間等を工夫し実施率が昨年度37.5%が今年度92%に上昇した。模試の定点観測とその対応などを行う三鷹スタンダード委員会は、昨年度と同様の活動を行うことができた。課題を発見し解決を図る探究学習は、国際探究部が主導しメンター制度と探究支援員制度を整備し、探究発表会を統一開催に改めるとともに、研究プロセスの定着を図り、データなどの根拠に基づく発表が増えるなど、レベルの底上げを図ることができた。

将来の在り方・生き方を見据えた、系統的・継続的キャリア教育の実施については、計画どおりに実施できた。1・2年生での職場体験等で生徒の職業観・勤労観を高め職業意識を醸成し、3・4年生での大学訪問で学ぶ意欲を喚起することができた。進学指導はデータに基づく丁寧な指導の充実に努めた。進学実績は、大学入学共通テストは好成績であり、難関国立大学・国立大学医学部の合格者数は昨年度並みを維持するとともに、東大現役合格者が8名という過去最高の合格実績になった。

規範意識の向上、発達段階に応じた生活指導の充実、心身の健康維持については、計画どおり実施できた。後期生においては昨年度第2学期に遅刻の増加や身だしなみの乱れなどだらしなさが目立ったが、今年度は改善された。防災教育、食育、特別支援教育、安全教育、体育健康教育、部活動は予定どおり実施できた。前期部活動の地域移行については、都教育支援機構からの支援員の派遣を、男女硬式テニス部、水泳部、女子バレエ一部、剣道部で実施したが、技術指導力の向上、教員の働き方改革の点で大きな成果があった。

国際理解教育の推進については、国際探究部が中心となって、円滑に実施できた。台湾の国立屏東高級中学との交流は本校周辺の地域調査を今年度も実施し、より充実したものになった。また、4年生対象にシンガポールで行うグローバルイノベーション研修を初めて実施し、生徒の満足度も高く大きな成果を上げた。

ICT機器を活用した幅広い教育活動の展開については、ほぼ計画どおり実施できた。先進的な取組を行っている「DXハイスクール」の視察は全国から6件に及んだ。

3 今年度の学校経営

校内組織体制の充実については、計画どおり実施できた。学校経営の基盤となる理念（仕事をする上での基本的考え）を全教職員で共有するとともに、新組織の国際探究部によって国際交流や探究学習がより充実した内容になった。

業務の効率化については、計画どおり実施できた。昨年度から職員室を未来型オフィスに環境改善したことで、クリーンデスクが徹底されるとともに、教員間のコミュニケーションが増え、情報共有を迅速に行い、意思決定も速くなった。

募集対策の改善については、計画どおり実施できた。私立中学校への進学人気が高まる中で、第1学年保護者向けのアンケート調査を行い、学校説明会における演劇部による進行や全体会後に生徒も加えた個別相談を実施するなどの実施方法の見直しを図った。その結果、応募倍率は昨年度より0.07ポイント上昇するとともに、5年連続都立中高一貫教育校の中でトップとなった。

服務事故の根絶については、年度当初答案紛失が発生したが、答案返却の時間を増やすなど、改善を図るとともに、教職員全体の個人情報保護の理解等の研修など、服務事故防止研修を年3回実施した。次年度も継続して実施する必要がある。

令和7年度学校経営計画に係る数値目標一覧

項	番	項目	目標数値	結果		
(1)	①	・模擬選挙（3年「社会」）	三鷹市選管委と連携した授業1回	達成 1回実施		
		・模擬裁判員体験	東京弁護士会と連携した授業1回	達成 1回実施		
		・財務教育プログラム	財務省と連携した授業1回	達成 1回実施		
		・三鷹サングード委員会（模擬試験結果検討会）	年3回	達成 3回実施		
		・教員の相互授業見学	教員一人当たり年間2回以上	未達成 92%実施		
(1)	②	・研修会の実施	年7回	達成 7回開催		
		・デジタルを活用した「主体的な学び」に関する研究PTの開催と成果物の発行	年5回以上	達成 9回開催		
		・教育ダッシュボードの活用	紀要の発行	達成 発行		
		・外部機関との連携による理数系特別講座	実践事例を2本以上	達成 2本		
		・科学的施設視察	年3回以上	達成 3回		
		・科学の甲子園東京都大会	年3回以上	達成 5回		
		・朝読書	都10位以内入賞	未達成 31位		
		・図書館年間貸出冊数	1年間25冊以上（1～4学年）	未達成 37%		
		・書評合戦	10,000冊以上	未達成 86%（8567冊）		
		・探究学習の成果発表会の充実	全国高校ビブリオバトル出場	未達成 都予選出場		
		・大学入学共通テスト実受験者	1～5学年が発表する探究デーを実施	達成 2/20 知の文化祭実施		
		・現役難関国立大学・医学部医学科合格者	98%以上	達成 99%		
		・現役国公立大学合格者	14人以上（東大3人以上）	達成 17人（東大8人）		
		・現役難関私立大学合格者（早慶上理）	50人以上	達成 50人		
		・現役GMARCH合格者	120人以上	達成 143人		
		・6年ケース会議	200人以上	達成 205人		
		(1)	③	・2年職場体験	年1回、延べ45社以上の事業所連携	達成 46社連携
				・大学キャンパス訪問	年1回	達成 2回実施
				・前期課程の補習	40講座以上	達成 54講座実施
・6年の夏季講習	40講座以上			達成 42講座実施		
(1)	④			・生徒相談連絡会	年3回	達成 3回実施
		・特別支援学校との連携	年1回	達成 2回実施		
		・自殺未然防止の推進	外部講師による校内研修を年1回以上	達成 1回実施		
		・学校事故発生件数	0件	達成 0件		
		・セーフティ教室	年間2回	達成 2回実施		
		・安全指導	年間12回（避難訓練・防災訓練を含む）	達成 12回実施		
		・部活動加入率	90%以上	達成 103%加入		
(1)	⑤	・海外高校生等招聘による国際交流	年3回以上	達成 3回実施		
		・校内留学	1・2年全員、1回実施	達成 2回実施		
		・海外研修	ニュージーランド、参加生徒40人以上	達成 60人実施		
		・英検準2級以上の取得率（前期課程修了時）	75%以上	未達成 57%取得率		
		・台湾海外修学旅行	海外における学校交流1日	達成 1日実施		
		・東京グローバル遠足	6年実施	達成 1回実施		
		・姉妹校交流の充実	ニュージーランドへの短期ステイの準備	達成 交渉中		
(2)	①	・ICT校内研修会	年間4回以上	達成 4回実施		
		・Teamsを活用した授業	85%以上の教員が実施	達成 98%実施		
		・Teacher!s Eyeの活用	50%以上の教員が実施	未達成 44%実施		
		(2)	②	・学校見学会・学校説明会参加者数	延べ4,500人以上	達成 4658人
				・授業公開参加者数	延べ1,500人以上	達成 2440人
・授業公開	土曜日授業に合わせ年18回			達成 18回実施		
・応募倍率	4.4倍以上			達成 4.41倍		
(2)	③	・夏季休暇取得	全教職員完全取得	未達成 98%取得		
		・年次有給休暇取得	管理職15日以上、教職員平均15日以上	達成 15.8日		
		・学校閉庁日	5日間設定	達成 5日間実施		

49指標中、達成41未達成8、達成率83.7%（昨年度77.9%）